

梅雨が降る中に行われた第2回岩岳ロゲイニング。昨年から参加者大幅増加だ。

2013年6月15日(日) 長野県白馬村  
エバニュー岩岳ロゲイニング大会



雨にも関わらずニコやかな参加者  
地元・白馬中学校の生徒も多かった

結果(3時間の部)

ナヴィクラス ファミリー

- 1 ハムちゃん 393点
- 2 辰野 325点
- 3 ゆみすけ 277点

ナヴィクラス 混合

- 1 TEAM 阿闍梨 635点
- 2 チーム遠足 599点
- 3 渋谷で走る会 580点

ナヴィクラス 女子

- 1 くったり、まったり 502点
- 2 チームチョコっち 378点
- 3 劇団ささがわ花組 325点

ナヴィクラス 男子

- 1 A-Team 703点
- 2 OPC43 608点
- 3 orienteering.com 580点



orienteering.com チームとして木村とチームを組んだ奥村氏。岩岳山頂近くにて。晴れていればここから白馬岳の雄大な景色が見えるはず。

## 夏の雨

昨年の第一回大会は参加者が少なく、タナボタ優勝させていただいた。それもそのはず、昨年は準備期間が短くてほとんど試行大会の状態だった。

そんなイベントも今年で2回目。アウトドア用品で有名なエバニュー社がシーズンオフのスキーリゾート岩岳と組んでしっかり期間をかけて準備していた。さらに今回はJOAのナビゲーションゲームズのシリーズ戦にも加わった。その結果、昨年の5倍の参加者が集まった。

私たちのチームが今年も狙ったタナボタ優勝は、白馬岳にかかった霧の中へと消えて行った。



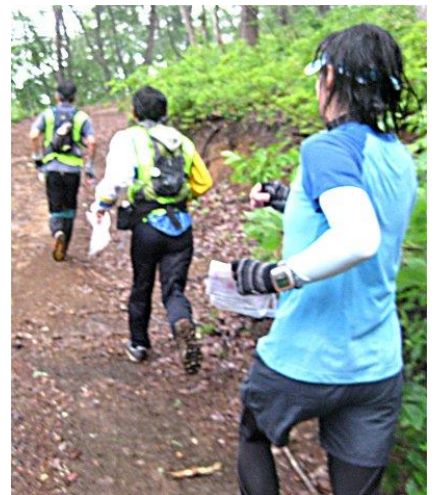
男子優勝のA-Team。帝王柳下と大内。  
ロゲイニングの当代最強チーム。



混合1位のTEAM 阿闍梨。序盤は併走。やはり考えるプランは同じか。

のに比べて、今年は山麓からのスタートとなった。スキーのゴンドラリフト1本分の厳しい登りをこなして山頂のパノラマが楽しめる。競技時間90分のミニクラスは昨年同様、岩岳山頂がスタート。こちらにはファミリーが多数参加していた。

(木村佳司)



中盤は混合2位の「チーム遠足」と前後して走る。「遠足」のパワーの前に引き離されてゆく。



混合3位の「渋谷で走る会」。ここにも走力で負けていたが、なんとかドロリーに持ち込んだ。それにしても高得点を出すオリエンティアが立てる戦略は似てしまう。

## スキーゴンドラ分の登り

シリーズ戦に加わる条件として、最短でも3時間のクラスを作る必要がある。昨年は岩岳山頂がスタートだった